



## Look Beyond Yourself 自分を越えた眼を

1991-92年度国際ロータリーのテーマ



- 国際ロータリー会長 ラジェンドラ・K. サブー ●第2560地区ガバナー 橋本 力
- 会 長——渡辺宏策 ●副会長——内山辰策 ●幹 事——石橋育於 ●副幹事——外山雅也
- SAA——五十嵐力 ●副SAA——渋谷正一 ●例会日——毎週水曜日 12:30～
- 例会場——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
- 事務局——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 35-3477  
FAX 32-7095

**出席者会員数** 会員 74名中 53名

**先々週出席率** 92.96% (前年同期 84.21%)

**今日のお花** クジャク草、マンジュシャゲ

**ヴィジター** 三木みどりより 藤本晏夫君

三条北より 佐藤義英君、村山誠一君、本間建雄美君

**ゲ ス ト** 三条市教育長、永塚光雄殿

**先週のメイクアップ** 9/19 燕へ 加藤征男君、加藤紋次郎君

9/19 三条ローターアクトへ 清水良一君、五十嵐総一君、  
松谷昊吉君

9/24 分水へ 内山昭二君

9/24 三条北へ 堀川政雄君、五十嵐晋三君、伊藤廣一君

**会 長 挨拶** 渡辺(宏)会長

近年地球環境の破壊が大きな問題になっております。クリーンエネルギーの研究も進められております。スイスでは太陽光による発電の実用化を目指し、国道沿いに太陽電池を並べて相当規模の発電をしております。アメリカでは大規模な風力発電を試みております。

ところがその設備機器はいずれも日本製だとのこと。

機器が日本で出来ていながら日本でそんな試みがされていないことに疑義を感じます。  
本日歴代会長会議がございます。クラブ運営に付いて諮問致したいと思っております。  
皆様も何かご意見・ご提案が有りましたら例会終了後事務局に申し入れて下さい。

**10月のお祝い**

- ◎会員誕生祝 12日 古沢富雄君 18日 渡辺喜彦君 19日 轡田秋夫君  
24日 佐野勝栄君 26日 吉井俊介君
- ◎夫人誕生祝 3日 五十嵐幸子さん(晋三) 4日 広岡キクさん(豊作)  
15日 金沢京子さん(興宗) 19日 池田 律さん(俊一)
- ◎結婚記念 2日 石橋育於君 3日 五十嵐晋三君 5日 広岡豊作君  
10日 藤田紘一君 10日 五十嵐寿一君 11日 山本福七君  
12日 谷村憲一君 15日 渡辺勝利君 23日 伊藤廣一君  
24日 内山裕一君 25日 熊倉昌平君 28日 細井増雄君
- ◎100%出席賞 22年 野村竹三郎君 22年 熊倉昌平君 19年 小林九満太君

ニコニコBOX ￥34,000 9月25日分

- 渡辺(宏)君 二洲楼さん新築5周年記念ゴルフコンペ100名以上の大盛況とのことお目出度うございました。息子もお世話になりました。先週出席率90%台でした。
- 石橋君 昨日二洲楼新築5周年記念の謝恩ゴルフコンペを開催いたしましたところ大勢の方々から御参加いただき盛大に行う事が出来ました。熊倉大会会長始め御参加いただきました会員皆様本当にありがとうございます御座いました。本日の卓話をいただきます永塚光雄新教育長をお迎えして。
- 藤田(説)君 永塚教育長を歓迎して。  
しばらく欠席が続きましたので。
- 鈴木君 9月22日の日曜日に青年会議所の25周年式典に招かれました。  
二洲楼新築5周年記念ゴルフ大会に招かれました。
- 熊倉君 二洲楼さんの謝恩ゴルフコンペが盛大に行われ、渡辺喜彦会員が見事優勝。お目出とうございました。
- 細井君 二洲楼さん5周年ゴルフコンペ盛大で誠にめでとう御座居ます。快晴のもと、楽しく過ごさせていただきました。
- 渡辺(喜)君 昨日、二洲楼さんの新築5周年記念ゴルフコンペで優勝させていただきました。石橋さんの人柄と交際の広さにけいふくいたしますと共に、今後の御発展を御祈り申し上げます。

- 渋谷(正)君 永塚光雄新教育長の卓話を楽しみにしておりました。
- 加藤(紋)君 二洲楼さん新築5周年お芽出度うございます。ゴルフコンペに参加出来ませんでしたが大変盛況の由、お祝い申し上げます。
- 五十嵐(総)君 お忙しい所、教育長永塚様の卓話をお願い致しありがとうございました。昨日は二洲楼様の5周年記念ゴルフに参加させて頂きありがとうございました。
- 五十嵐(力)君 9月13~15日日本DIY、HCジャパン見本市で五十嵐プライヤの新商品ワイドプライヤが銀賞を戴きました。
- 堀川君 全国作業工具工業組合の関係で欧州に行って大変勉強させられ刺激を感じて来ました。来週卓話の当番ですのでお話ししたいと思っています。
- 村木君 昨日の二洲楼さんのゴルフコンペで、川又さんと同グロス、同ネットでしたが年長ということで第3位をいただきました。川又さんすみませんでした。
- 小林(正)君 先日の連休に水上の聚楽でいとこ会を行いました。みんなから大変よろこばれました。

**卓 話**

三条市教育長 永塚光雄 殿

日頃のご指導、ご鞭撻に厚く御礼申し上げます。  
市理事会、議会、地域の皆様のお力で、三条市の学校教育環境を整備充実していただいておりますことを、教育関係者の一人として感謝いたしております。今年度も、大島小学校の新築、続いて同校体育館、本成寺中学校第二体育館の建設をいただいているところであります。  
由来、日本は教育を大事にする国です。その中で、明治以来、二度の大きな飛躍(離陸)を遂げました。  
第一の離陸は、明治維新とそれに続く飛躍の時代です。明治5年の学制公布から、わずか30年後の明治39年、日本の小学校就学率は90%に達していました。



世界が驚くこのような飛躍を遂げた原因は何でしょうか。一つには、江戸時代からの寺子屋など庶民の中に生きた教育熱。二つに、封建社会から脱皮したばかりの日本が西洋というモデルに対して追いつき、追い越せの意気を持ったこと。三つに、政治と教育が一体になって富国強兵の国策をすすめたことなどが挙げられます。

この教育も、昭和20年の敗戦で墜落しました。世界の多くの国は、日本の立ち直りはな

いと思いましたが。しかし、経済・産業の分野と同じように、日本の教育は不死鳥のような勢いで二度目の離陸を成し遂げました。その教育は、かつての過ちを払拭し、政治・宗教からの中立を守りながら、人権尊重、個性伸長の目標を明確にして、空高く飛行を続けています。飛行の前途に乱気流がないわけではありません。

第一は、知識・技術の伝達、しつけ、道徳教育、交通安全指導、給食指導など、あまりにも多くのことを学校に委ねてはいないかということです。学校は、思いながらも手が回らない面もあるようです。しかし、逃げることなく、家庭・地域との連携を深め、信頼を更に強固にする努力が必要です。

第二は、物豊かな時代になって、教育の理念が不透明になってきたことです。洋の東西、古今を通して、教育の根幹に流れていたものの一つは、貧しさからの脱却でした。「我慢しなさい。がんばりなさい。そして、今より一步前進しなさい。」という中で子供は育ってきました。物豊かになった現在、それが通用しない場面が多くなってきました。子供に耐性が欠如してきたとも言われています。物豊かな中での教育はどうあればよいのか。この点について、世界の先頭集団を走っている日本は、学ぶべき先人がいないのです。そこに日本の難しさがあります。

そういう中で大切なことは、教育とは、一人一人の子に生きる自信や自分に対する誇りを持たせることです。それは、親が、学校が、社会がそう在ることです。

幼児期における「直立歩行」の指導では、みんなが歩いて見せています。褒めながら（認めながら）やらせています。できるまで頑張らせています。この中にこそ、教育の基本があるように思います。

今後とも、御教示をお願いいたします。

---

10月2日例会 卓話 堀川政雄会員

---

10月9日例会 職場例会 於 内田製作所

---

10月16日例会 卓話 野村竹三郎会員

---